

令和7年度学校経営計画

1 目指す学校像「信頼され、ウェルビーイングを実現する学校」

- 自ら学び「社会に生きる確かな力」を身につける学校
- 保護者や地域から信頼され共生社会の実現に向けてその使命を果たす学校
- 教職員が夢を持って学校経営に参画しウェルビーイングを実現する学校

2 教育目標 「よりよく生きるために」

豊かな心と健やかな体、逞しく生きる力を育てる。

3 目標具現化の柱

【楽しく学び思考力を高める授業づくり】豊かな

- ア 視覚障害教育の充実と基礎学力・課題解決力を身に着ける授業実践
- イ 効果的な学びのための ICT 機器・情報等活用力を育てる授業づくり
- ウ キャリア発達に必要な力を培う学習の充実

【安全で安心な学校生活】健やかな

- エ 健康・栄養に関する知識と理解を深め体力向上につながる活動の充実
- オ 防災学習の充実及び防災体制の見直し
- カ 仲間と協働し達成感を共有する経験及び自己肯定感を高める活動の充実

【成長を支える支援体制】逞しく

- キ 視覚障害教育センターとしての相談支援機能の強化
- ク 交流及び共同学習や地域の資源を活用した活動の充実
- ケ 保護者、地域、関係機関に対する教育活動の発信
- コ 自身の強みを生かし日々の対話を大切にしながら協働できる職場づくり

4 本年度の取組（重点目標はゴシック体）

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当 |
|------------------------------|--|--|--|---------------------|
| 楽しく学び思考力を高める授業づくり | ア 視覚障害教育の充実と基礎学力・課題解決力を身に着ける授業実践 | <ul style="list-style-type: none"> ・触察や概念形成、言語活動を重視した授業づくり ・専門家からの学びを共有し授業及び指導に生かす取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・個々の見え方に応じた支援を講じながら基礎学力をつける授業づくりをする。 ・視能訓練士や歩行訓練士の指導助言を受け手立てを講じたり教材づくりに生かしたりする。 | 各学部 研修課 自立活動課 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・幼児児童生徒理解に基づいた教育課程の編成 ・障害特性や発達課題に即した指導計画の作成及び活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育的ニーズに応じた教育課程を編成し、適切かつ効果的に実施する。 ・つながりと切れ目のない効果的な指導、支援を行い指導目標を達成することができる。 | 各学部 教務課 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・「視覚障害教育における課題解決力を育成する授業づくり」をテーマとした校内研修の実施 ・研修テーマを踏まえ自己課題に沿った一人一授業公開の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもが主語」の視点に立って授業を設計し、適切な目標設定および指導展開、学習評価を重ね、幼児児童生徒の学習の解決に迫ることができる。 ・授業研究での学びを日頃の授業実践および生活支援に活かす。 | 各学部 研修課 |
| | イ 効果的な学びのための ICT 機器・情報等活用力を育てる授業づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器やアプリ等の研修会、ミニ学習会等の実施 ・読書活動の充実と音声図書や点字図書を含む本や図書室の利活用の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器・情報活用力が向上し、担当する児童生徒に1つ以上の新しい機器やアプリの使い方を伝えることができる。 ・ICT 機器等を利用した音声図書や図書室等の活用により本に親しむことが増える。（幼児児童生徒） | 図書情報課 |
| ウ キャリア発達に必要な力を培う学習の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア教育発達段階表」や「キャリアパスポート」の育てたい力を押さえた進路に関する学習の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア教育発達段階表」の活用を含む多様な進路学習が自己理解や社会参加に向けた意欲を引き出すことができる。 | 各学部 進路指導課 寄宿舎 | |

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当 |
|------------|------------------------------------|--|--|---------------------|
| 安全で安心な学校生活 | エ 健康・栄養に関する知識と理解を深め体力向上につながる活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 自身の健康や生活習慣を見直す保健指導 「心の健康」への関心を高める工夫 月1回の「ひまわりタイム」 | <ul style="list-style-type: none"> 自身の体や心の健康について把握し、生活習慣を見直している。（幼児児童生徒） 幼児児童生徒の心身の健康を把握し、実態に応じた指導をする。 困ったときや不安なときに教師や家族、友人等身近な人に相談できる。（幼児児童生徒） | 保健課 生徒指導課 寄宿舎 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた食育体験の充実 食に関する積極的な情報発信（ちょこっと食育充実） | <ul style="list-style-type: none"> 食について理解を深め、食材の栄養や食事に対する関心が高まる。（幼児児童生徒） | 保健課 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 体力向上につながる実践 | <ul style="list-style-type: none"> 日常生活や学習に必要な体力や体づくりをする。 | 各学部 |
| | オ 防災学習の充実及び防災体制の見直し | <ul style="list-style-type: none"> 発達段階に合わせた体験的な防災学習の充実 避難訓練の見直しと改善（実地的な避難訓練、防災研修会年3回以上） 地域や保護者を巻き込んだ災害への備えの確認と準備 | <ul style="list-style-type: none"> 防災学習や体験的活動により緊急時に備えた準備ができる。（教職員・幼児児童生徒・保護者） 避難訓練や防災学習では防災意識を高め主体的に動くことができる。（教職員・幼児児童生徒） 防災マニュアル等を見直し、避難時や緊急時の対応を理解できる。 | 各学部 生徒指導課 寄宿舎 |
| | カ 仲間と協働し達成感を共有する経験及び自己肯定感を高める活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 主体性と互いを認め合う力を育成する学級活動、部活動、生徒会・委員会・自治会・舎生会活動等の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 人権意識が高まり、相手の人権を尊重したかかわりができる。 自分の得意なことや仲間のよいところに気付くことができる。（幼児児童生徒） | 各学部 生徒指導課 寄宿舎 |
| 成長を支える支援体制 | キ 視覚障害教育センターとしての相談支援体制の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者、園や学校、病院等と連携した教育相談の充実 視覚障害支援研修会、福祉体験学習、講演等外部要請への積極的な対応 | <ul style="list-style-type: none"> 外部専門家や教育機関と連携を取り、相談者に必要な情報や支援を提供する。 対象者に応じた内容で、視覚障害やその支援方法について理解推進活動をする。 | 教育支援相談課 |
| | ク 交流及び共同学習や地域資源を活用した活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 学校間交流や「交流籍」を活用した交流及び共同学習の充実 地域の施設や人材を活用した学習活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 交流及び共同学習における個々の目標を明確にして取り組む。 地域資源を活用し幼児児童生徒の経験や視野を広げる。 | 各学部 |
| | ケ 保護者、地域、関係機関に対する教育活動の発信 | <ul style="list-style-type: none"> ホームページや学校公開（六葬祭も）、各種たより等を活用した広報活動による教育活動の啓発 YouTube等の情報発信の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ホームページや学校公開、たより等で本校の教育活動の様子が理解できる。（保護者及び外部の意見） 学校の様子や各種案内の発信を工夫することにより視覚障害教育の理解と推進を図る。 | 各学部 教育支援相談課 |
| | コ 自身の強みを生かし日々の対話を大切にしながら協働できる職場づくり | <ul style="list-style-type: none"> 風通しの良い環境づくり（月に1回の対話の時間「あおいタイム」の設定） 多様な障害や特性等についての学び合い | <ul style="list-style-type: none"> 自分とは異なる多様な意見に対して肯定的に受け止め、建設的な意見のやり取りをし、同僚と協働しながら業務を進める。 聴覚特別支援学校との連携ができ、魅力ある寄宿舎づくりをする。 | 各学部 寄宿舎 |

* 「あおいタイム」とは、「ありがとう、おしゃべりをして、いい気分」になる時間